

経営比較分析表（令和2年度決算）

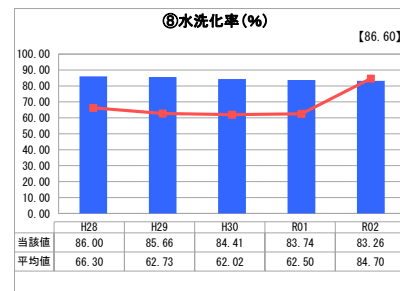
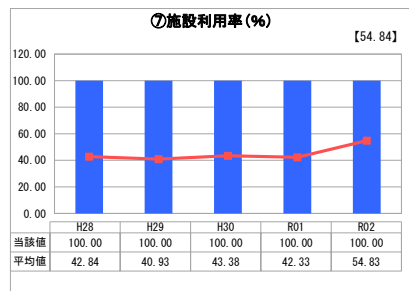
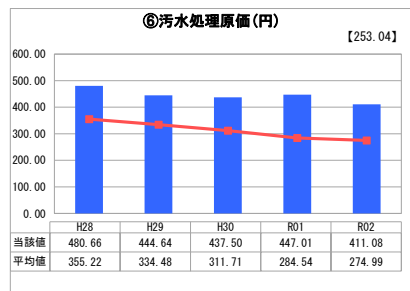
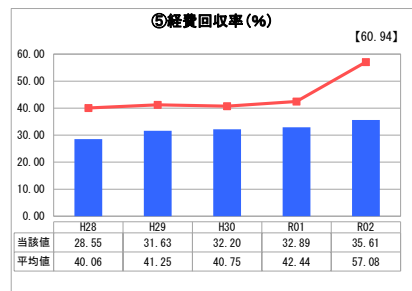
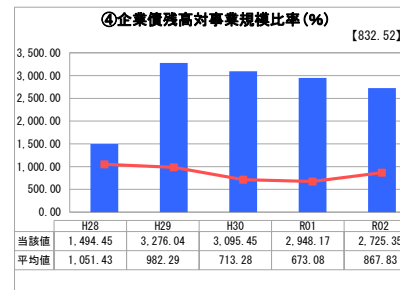
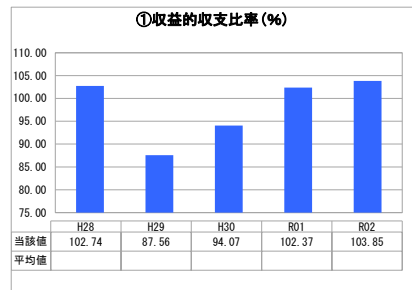
埼玉県 吉川市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.64	100.00	3,520

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
73,248	31.66	2,313.58
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
472	0.21	2,247.62

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①前年度と比較すると、一般会計繰入金の減少により総収益が0.5%下降したが、それ以上に総費用が3.9%減少し、結果的に収益的収支比率が103.85%まで増加した。総費用については専用端末のシステム改修委託費等の未発生により減少しているが、依然として、収益については一般会計からの繰入金に依存している状況にある。

②前年度と比較し、営業収益が横ばいながら、企業債残高が減少したことで、企業債残高対事業規模比率も減少した。類似団体と比較すると高い水準となっているが、管路整備等、必要な設備投資が完了していることから、今後は企業債残高の減少に伴い、当該指標も下降していく見込みである。

③前年度と比較し、使用料収入が横ばいの中、修繕費の未発生等により汚水処理費が減少したため当該指標が上昇したが、依然として100%を下回っており、使用料以外の収入に依存している状況である。

④1mあたりの汚水処理に要した費用であり、前年度から微減となったが、依然として類似団体の平均を上回っている。本市の事業は比較的小規模の事業のため有収水量が小さく、当該指標が高くなる傾向だと考えられ、今後は人口減少により有収水量の増加も見込みにくいため、一層の経費節約に努める。

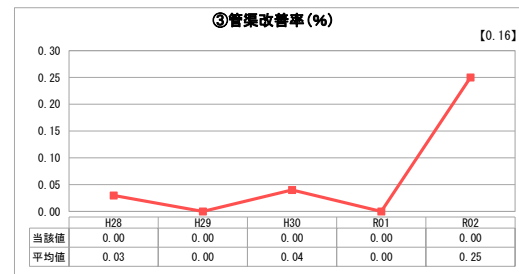
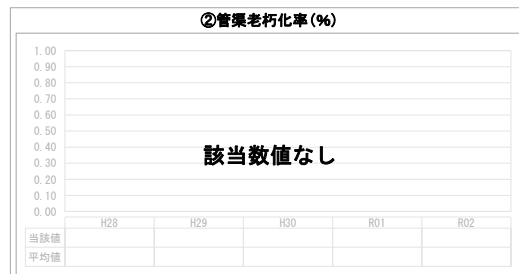
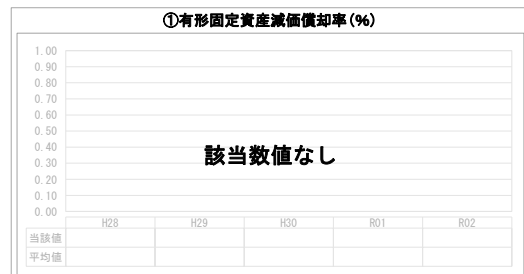
⑤当該指標は100%を維持しており、類似団体との比較においても大幅に高い水準となっている。

⑥当該指標は横ばい～微減の状況が続いている。類似団体との比較ではほぼ平均値ではあるが、今後は100%達成に向け、区域内の農業集落排水への接続を一層推進する必要がある。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率
当事業の供用開始は平成17年であり、20年を経過しておらず、耐用年数が50年である管渠の更新は下現時点では不要である。

2. 老朽化の状況



全体総括

当事業における計画エリア内の管路敷設は既に終了しており、今後の運営については維持管理が主体となる。しかし、経費回収率の数値が示す通り、使用料の収入のみでは当事業の運営を行ってならず、一般会計からの繰入金に依存している状況にある。今後については、令和3年度実施の施設の機能診断の結果及び吉川市農業集落排水事業経営戦略に基づき、健全な事業運営の手法を検討していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。